

景 気 動 向 調 査

(第 180 回)

2016 年 1 月 ~ 3 月期実績

2016 年 4 月 ~ 6 月期予測

株式会社 北日本銀行

経 営 企 画 部

目 次

調査要領	1
概 況	2
1．県内景況感について	4
2．業況について		
(1) 売上高または出荷高	5
(2) 仕入高または生産高	6
(3) 在 庫	7
(4) 収 益	8
(5) 販売価格・仕入価格	9
3．設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	10
(2) 設備投資の目的	11
4．資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	12
(2) 現金・預金	13
(3) 金融機関借入	13
(4) 販売代金回収期間	14
(5) 仕入代金決済期間	14
5．経営上の問題点について	15

調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

記

- 1．実施時期 2016年 3月下旬～4月上旬
- 2．調査対象期間 2016年 1月～ 3月期実績
 2016年 4月～ 6月期予測
- 3．調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
- 4．対象先 岩手県内企業 302社
- 5．回答数 156通（回答率 51.66 %）
 内訳 製造業 49社 建設業 36社 卸・小売業 71社
- 6．調査の主要項目 ・業況について
 ・設備投資の動向について
 ・資金繰りの状況について
 ・当面する経営上の問題点について

以 上

【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

（注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

概 況

2016年1～3月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で 35.9 と前期（2015年10月～12月期） 30.3 と比較し、5.6ポイント低下した。
2016年4～6月期は、景況感をはじめ、ほとんどの個別指標が低下見通しとなっている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	1～3月期実績	4～6月期見通し
景況感	35.9	43.9
売上高・出荷高	2.0	14.2
収益	2.6	14.5
販売価格	4.6	0.6
仕入価格	14.1	12.4
資金繰り	2.6	2.6

・岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第 153 回	09年1～3月	92.7
2	第 152 回	08年10～12月	91.3
3	第 124 回	01年10～12月	91.2
4	第 109 回	98年1～3月	90.6
5	第 111 回	98年7～9月	90.0

（1971（昭和46）年以降）

<岩手県の参考データ>

・有効求人倍率の推移

平成 27 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.20	1.23	1.21	1.27	1.27	1.21	1.22	1.22	1.20	1.23	1.24	

平成 26 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.11	1.13	1.08	1.05	1.05	1.05	1.10	1.12	1.17	1.13	1.11	1.11

・新設住宅着工戸数の推移

平成 27 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
742	725	887	726	852	663	664	773	680	654	558	

平成 26 年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
802	703	782	647	844	778	1,127	650	757	689	546	681

1．県内景況感について

全体のD Iは、 35.9であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が 29.2、建設業が 29.4、卸・小売業が 43.7と前回調査時と比べて景況感は、製造業は上向き、建設業と卸・小売業は低下した。

4～6月期見通しでは、製造業が 29.1、建設業が 66.7、卸・小売業は 42.1と、製造業は横ばい、卸・小売業はやや上向き、建設業は大幅低下予想となっている。

2．業況について

(1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では2.0であった。業種別では、製造業が4.1、建設業が8.3、卸・小売業が 2.9である。

(2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが 2.1、卸・小売業の仕入高は 5.6となっている。

(3) 在 庫

製造業の製品在庫D Iは2.1、卸・小売業の商品在庫は 1.5となっている。

(4) 収 益

D Iは、全体では2.6となっている。業種別では、製造業が12.2、建設業が 2.7、卸・小売業が 1.5である。

(5) 販売価格・仕入価格

販売価格は4.6、仕入価格は14.1となっている。

3．設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は28.4%となっている。

業種別では、製造業が37.0%、建設業が13.9%、卸・小売業が30.4%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が2位、「経営の多角化」が3位となっている。

4．資金繰り状況について

D Iは、全体では2.6であった。業種別では、製造業が4.1、建設業が5.6、卸・小売業が0である。

5．経営上の問題点について

全業種合計では、「売上・受注不振」、「人手不足」、「収益不振」が上位を占めている。

1. 県内景況感について

～ 実績は製造業は上向き、建設業と卸・小売業は低下 ～

[1～3月期の実績] 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が9.2%（前期13.7%）、「悪い」が45.1%（同44.0%）で、DIは 35.9（同 30.3）と、前期に比べて5.6ポイント低下した。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が 29.2（同 36.4）、建設業が 29.4（同 8.1）、卸・小売業が 43.7（同 36.8）となっており、製造業は上向き、建設業と卸・小売業は低下した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が6.5%、「悪くなる」が50.4%であることから、DIは 43.9となり、1～3月期実績と比較して、低下見通しとなっている。

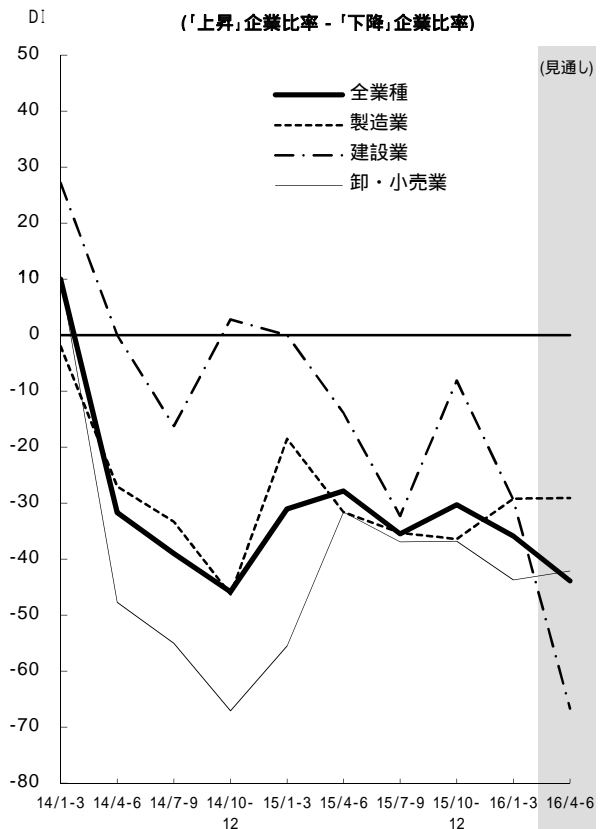
業種別にみると、製造業が 29.1、建設業が 66.7、卸・小売業が 42.1となっており、製造業は横ばい、卸・小売業はやや上向き、建設業は大幅低下見通しである。

県内景況感(前年同期比)

		(%)					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	1～3月 (実績)	0.0	9.2	45.7	34.0	11.1	-35.9
	4～6月 (見通し)	1.3	5.2	43.1	39.9	10.5	-43.9
(製造業)	1～3月 (実績)	0.0	12.5	45.8	27.1	14.6	-29.2
	4～6月 (見通し)	4.2	6.3	49.9	31.3	8.3	-29.1
(建設業)	1～3月 (実績)	0.0	8.8	53.0	29.4	8.8	-29.4
	4～6月 (見通し)	0.0	0.0	33.3	55.6	11.1	-66.7
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	0.0	7.0	42.3	40.8	9.9	-43.7
	4～6月 (見通し)	0.0	7.2	43.5	37.7	11.6	-42.1

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

～実績は全業種が上向き、見通しは全業種が低下予想～

[1～3月期の実績] 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が35.9%(前期35.5%)、「減少」が33.9%(同40.9%)となり、D Iは2.0(同 5.4)と7.4ポイント上向いた。

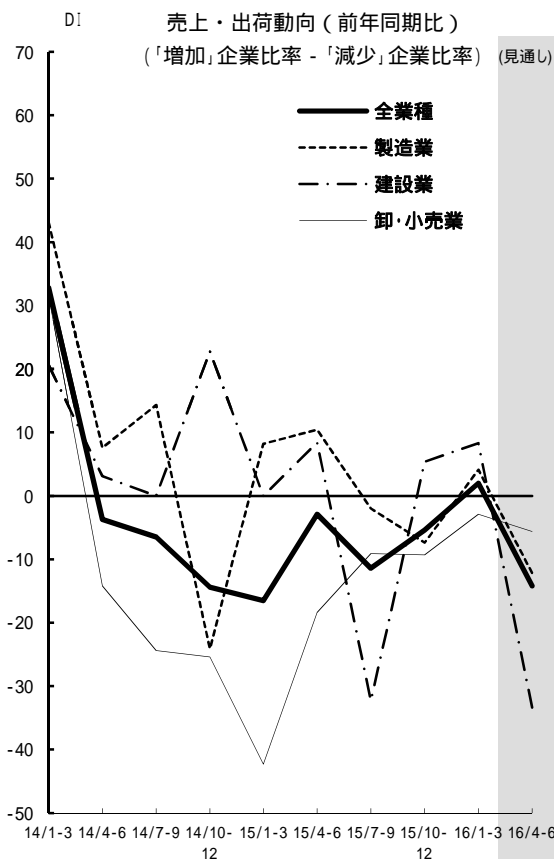
業種別にD Iをみると、製造業4.1(前期 7.4)、建設業8.3(同5.4)、卸・小売業は2.9(同 9.3)となっており、全業種上向いた。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が24.3%、「減少」が38.5%であることから、D Iは 14.2となり1～3月期実績と比較して、低下する見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業で 12.2、建設業で 33.4、卸・小売業で 5.6なっており全業種で低下する見通しである。

売上高または出荷高(前年同期比)

		D I					D I
		増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1～3月(実績)	7.1	28.8	30.2	25.6	8.3	2.0
	4～6月(見通し)	5.1	19.2	37.2	29.5	9.0	-14.2
(製造業)	1～3月(実績)	8.2	26.5	34.7	24.5	6.1	4.1
	4～6月(見通し)	8.2	16.3	38.8	22.4	14.3	-12.2
(建設業)	1～3月(実績)	11.1	25.0	36.1	22.2	5.6	8.3
	4～6月(見通し)	8.3	8.3	33.4	36.1	13.9	-33.4
(卸・小売業)	1～3月(実績)	4.2	32.4	23.9	28.2	11.3	-2.9
	4～6月(見通し)	1.4	26.8	37.0	31.0	2.8	-5.6



(2) 仕入高または生産高

～ 製造業、卸・小売業とも実績は上昇、見通しは低下～

[1～3月期の実績] 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が30.6%（前期35.2%）、「減少」が32.7%（同42.6%）でありDIは 2.1（同 7.4）と5.3ポイント上昇した。

卸・小売業（仕入高）では「増加」と答えた企業は33.8%（前期31.1%）、「減少」が39.4%（同41.9%）で、DIは 5.6（同 10.8）と5.2ポイント上昇した。

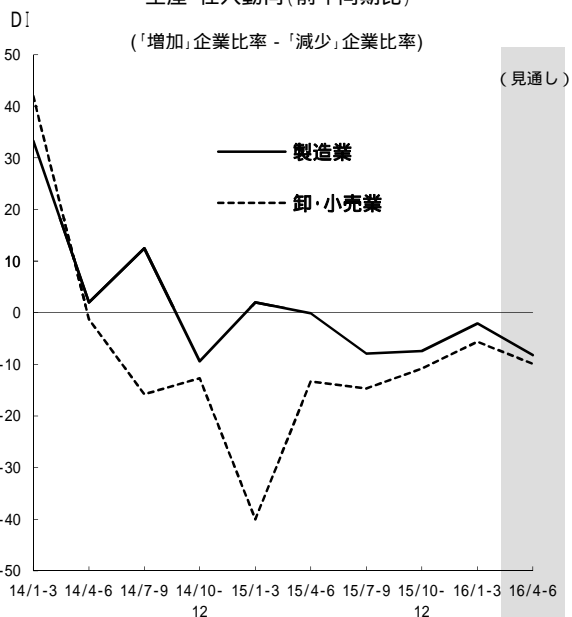
[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については「増加」と答えた企業が20.4%、「減少」が28.6%であることから、DIは 8.2で、1～3月期実績と比較して、6.1ポイント低下する見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が22.5%、「減少」が32.4%であることから、DIは 9.9で、1～3月期実績と比較して4.3ポイント低下する見通しとなっている。

生産高または仕入高(前年同期比)

		(%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
(製造業)	1～3月 (実績)	6.1	24.5	36.7	24.5	8.2	-2.1
	4～6月 (見通し)	8.2	12.2	51.0	18.4	10.2	-8.2
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	4.2	29.6	26.8	32.4	7.0	-5.6
	4～6月 (見通し)	1.4	21.1	45.1	29.6	2.8	-9.9

生産・仕入動向(前年同期比)



(3) 在 庫

～ 製造業、卸・小売業とも在庫実績は上昇、見通しは低下 ～

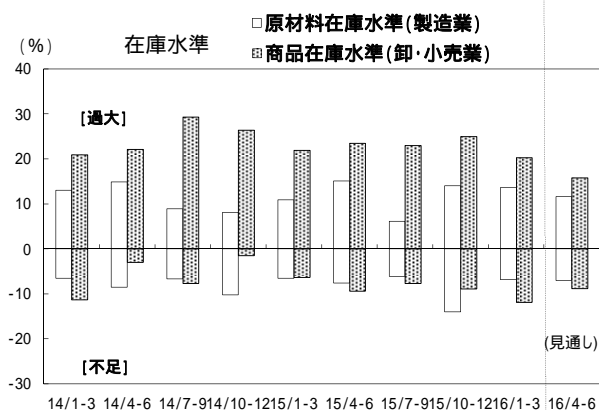
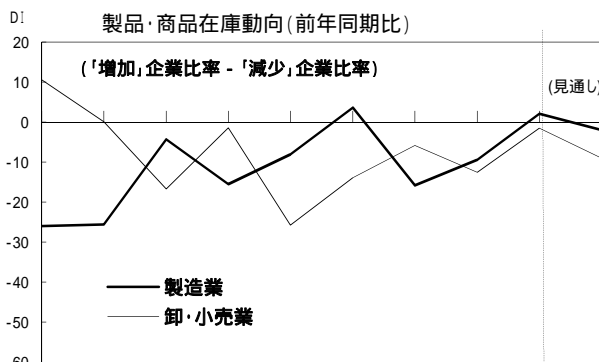
[1～3月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は20.9%（前期22.7%）、「減少」が18.8%（同32.1%）であることから、DIは2.1（同 9.4）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が10.2%（同18.9%）、「適正」が79.6%（同67.9%）、「不足」が10.2%（同13.2%）である。卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が19.4%（前期11.3%）、「減少」は20.9%（同23.9%）であることから、DIは 1.5（同 12.6）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が20.3%（同25.0%）、「適正」が67.8%（同66.1%）、「不足」が11.9%（同8.9%）である。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が18.8%、「減少」が20.8%で、DIは 2.0となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が8.3%、「適正」が79.2%、「不足」が12.5%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が10.4%、「減少」が19.4%であることから、DIは 9.0となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が15.8%、「適正」が75.4%、「不足」が8.8%である。

製品・商品在庫(前年同期比)

		（％）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	1～3月 （実績）	4.2	16.7	60.3	14.6	4.2	2.1
	4～6月 （見通し）	4.2	14.6	60.4	12.5	8.3	-2.0
（卸・小売業）	1～3月 （実績）	1.5	17.9	59.7	17.9	3.0	-1.5
	4～6月 （見通し）	0.0	10.4	70.2	19.4	0.0	-9.0



(4) 収 益

～全業種収益実績は上向き、見通しは低下予想～

[1～3月期の実績] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が35.9%（前期37.2%）、「減少」が33.3%（同39.6%）であり、DIは2.6（同 2.4）となり、5.0ポイント上向いた。

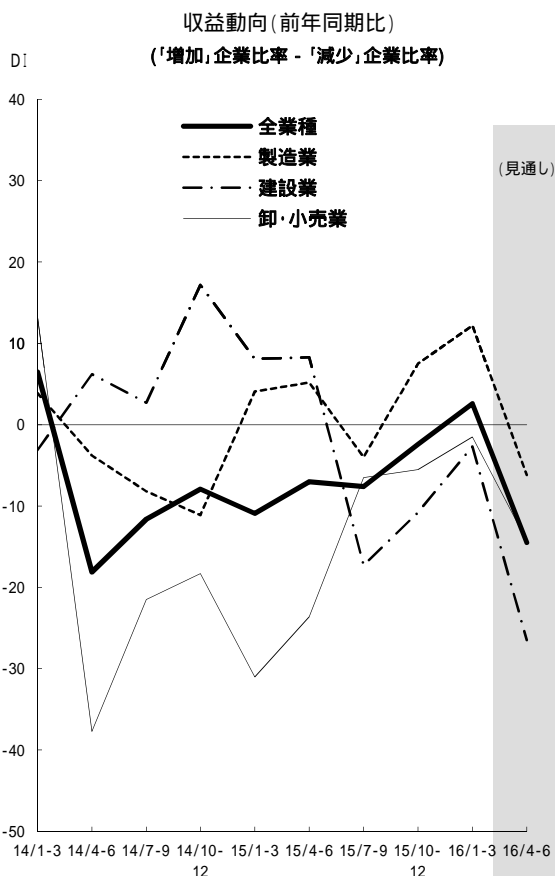
業種別にDIをみると、製造業12.2（前期7.5）、建設業 2.7（同 10.8）、卸・小売業 1.5（同 5.5）と、全業種で上向いた。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が22.3%、「減少」とみる企業も36.8%であることから、DIは -14.5で、1～3月期実績と比較して低下する見通しである。

業種別にDIをみると、製造業 6.2、建設業 26.5、卸・小売業 14.3で、1～3月期実績と比較して、全業種低下見通しである。

収 益(前年同期比)

		D I (%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	D I
全業種	1～3月 (実績)	7.7	28.2	30.8	25.0	8.3	2.6
	4～6月 (見通し)	5.9	16.4	40.9	30.9	5.9	-14.5
(製造業)	1～3月 (実績)	12.2	30.6	26.6	22.4	8.2	12.2
	4～6月 (見通し)	10.4	16.7	39.6	25.0	8.3	-6.2
(建設業)	1～3月 (実績)	8.3	16.7	47.3	19.4	8.3	-2.7
	4～6月 (見通し)	5.9	8.8	44.1	32.4	8.8	-26.5
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	4.2	32.4	25.3	29.6	8.5	-1.5
	4～6月 (見通し)	2.9	20.0	39.9	34.3	2.9	-14.3



(5) 販売価格・仕入価格

～実績は販売価格は低下、仕入価格は変化なし～

[1～3月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が16.8%（前期20.7%）、「低下」が12.2%（同14.0%）であることから、DIは4.6（同6.7）と低下した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が25.1%（前期29.9%）「低下」が11.0%（同15.8%）であることから、DIは14.1（同14.1）と変化がなかった。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が14.2%、「低下」とみる企業が14.8%であることから、DIは0.6と低下見通しとなっている。

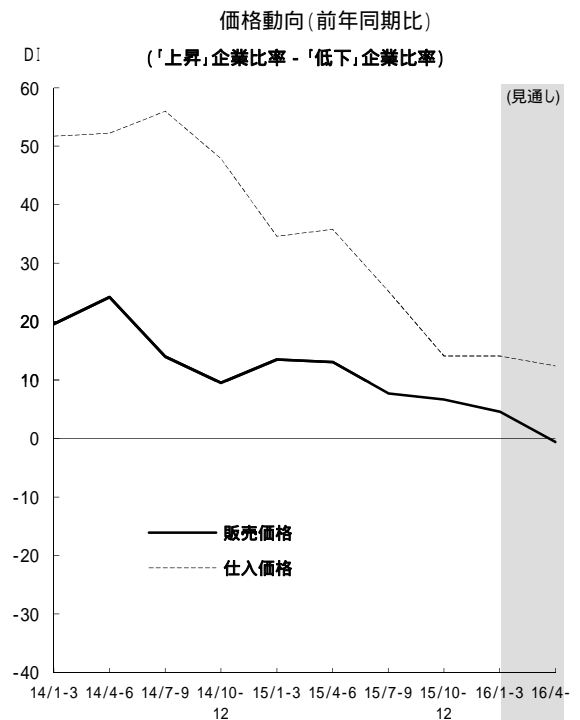
仕入価格については、「上昇」とみる企業が24.2%、「低下」とみる企業が11.8%であることからDIは12.4と低下見通しとなっている。

販売価格(前年同期比)

		（％）					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	1～3月 (実績)	1.3	15.5	71.0	9.0	3.2	4.6
	4～6月 (見通し)	2.6	11.6	71.0	11.6	3.2	-0.6

仕入価格(前年同期比)

		（％）					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	1～3月 (実績)	4.5	20.6	63.9	9.7	1.3	14.1
	4～6月 (見通し)	2.6	21.6	64.0	9.8	2.0	12.4



3.設備投資の動向について

(1) 設備投資の実施状況

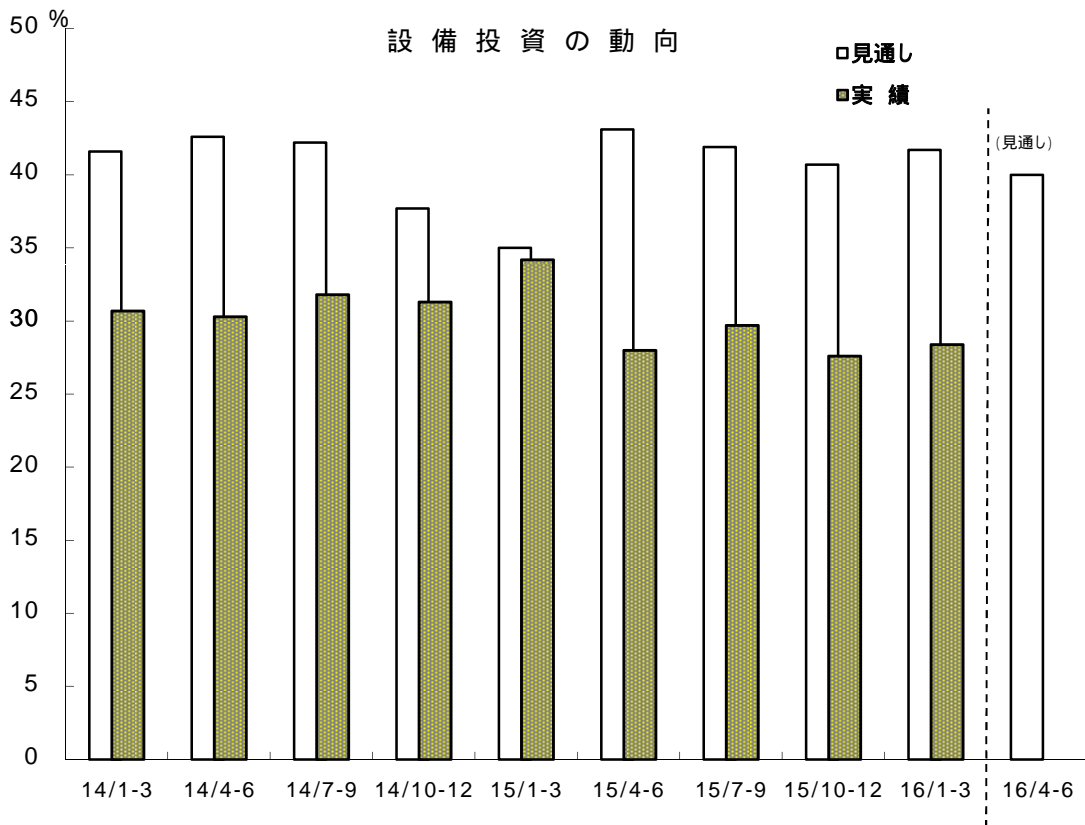
～ 実績は製造業と卸・小売業が増加、建設業が減少 ～

[1～3月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は28.4%（前期27.6%）と前期比横ばいに推移した。

これを業種別にみると、製造業37.0%（前期29.7%）、建設業13.9%（同21.2%）、卸・小売業30.4%（同28.7%）であり、製造業と卸・小売業は増加、建設業は低下した。

[4～6月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で24.7%（前期22.4%）、「計画はあるが具体化していない」は15.3%（同19.3%）、「計画はない」は60.0%（同58.3%）であった。「計画あり」は合計40.0%となっている。

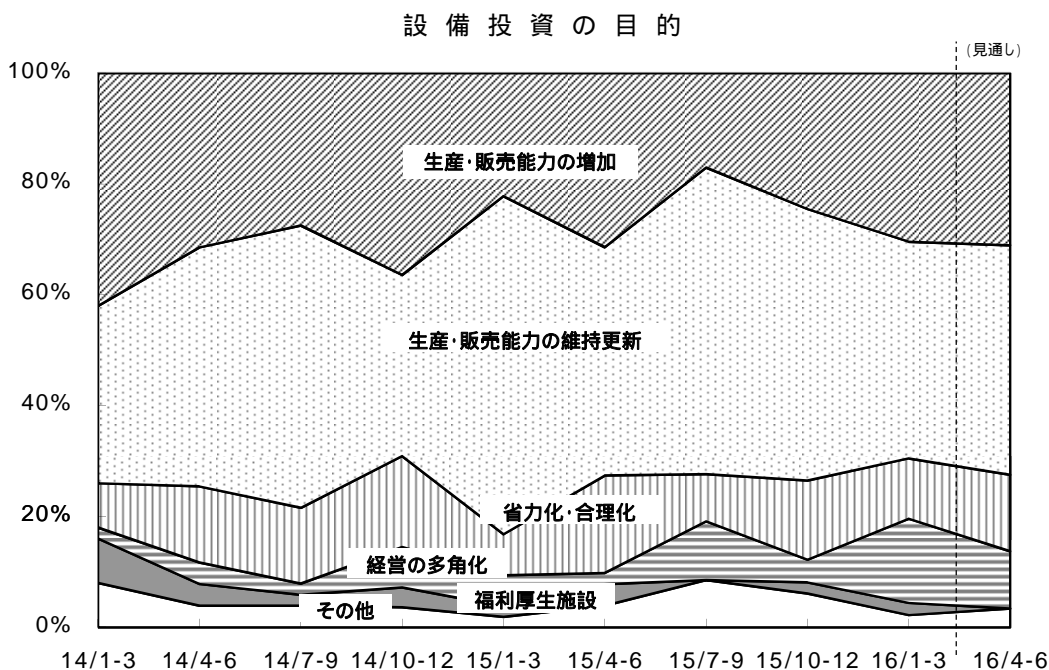
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で47.8%（前期51.8%）、建設業で28.6%（同20.0%）、卸・小売業で40.6%（同44.4%）の見通しとなっている。



(2) 設備投資の目的

[1～3月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(28.4%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が39.1%(前期49.0%)でトップとなり「生産・販売能力の増加」が30.4%(同24.5%)で2位となった。業種別で見ると、製造業と建設業は「生産・販売能力の維持更新」がトップ、卸・小売業は「生産・販売能力の増加」がトップだった。

[4～6月期の見通し] 今後3カ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(40.0%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が41.4%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」31.0%、「省力化・合理化」が13.8%で3位となっている。



4. 資金繰り状況について

(1) 資金繰り状況

～ 実績は製造業と建設業が上向き、見通しは全業種で低下予想～

〔1～3月期の実績〕 資金繰り状況（前期比）は、全業種では、「楽になった」とする企業が21.8%（前期19.8%）、「苦しくなった」が19.2%（同21.0%）であることから、D Iは2.6（同 1.2）と上向いた。

業種別にD Iをみると、製造業が4.1（前期 5.4）、建設業が5.6（同0）、卸・小売業は0（同1.3）と、製造業と建設業は上向き、卸・小売業は低下した。

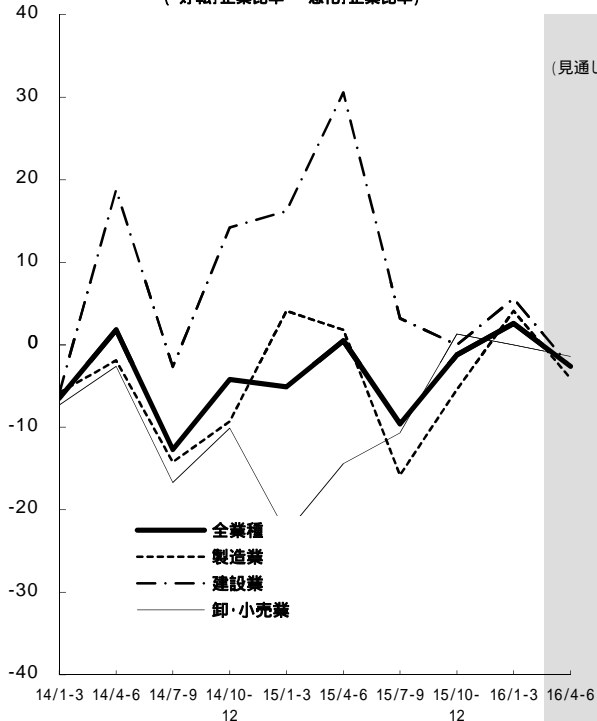
〔4～6月期の見通し〕 4～6月期の見通し（当期比）をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が16.0%、「苦しくなる」が18.6%で、D Iは 2.6となり、1～3月期実績と比較して、低下する見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業 4.1、建設業 2.7、卸・小売業 1.4となっており、全業種で低下する見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		（％）					D I
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	
全業種	1～3月 (実績)	3.2	18.6	59.0	14.1	5.1	2.6
	4～6月 (見通し)	1.3	14.7	65.4	14.1	4.5	-2.6
(製造業)	1～3月 (実績)	4.1	22.4	51.1	12.2	10.2	4.1
	4～6月 (見通し)	2.0	14.3	63.3	12.2	8.2	-4.1
(建設業)	1～3月 (実績)	5.6	16.7	61.0	13.9	2.8	5.6
	4～6月 (見通し)	0.0	16.7	63.9	19.4	0.0	-2.7
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	1.4	16.9	63.4	15.5	2.8	0.0
	4～6月 (見通し)	1.4	14.1	67.6	12.7	4.2	-1.4

資金繰り動向(前期比)
('好転'企業比率 - '悪化'企業比率)



(2) 現金・預金

[1~3月期の実績] 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が22.4%（前期22.2%）、「減少した」が30.1%（前期30.0%）であることからDIは 7.7（同 7.8）と上向いた。

[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が17.4%、「減少する」が27.8%であることから、DIは 10.4と低下する見通しとなっている。

(3) 金融機関借入

[1~3月期の実績] 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が12.9%（前期11.0%）、「減少した」が35.7%（同39.3%）であることからDIは 22.8（同 28.3）と上昇した。

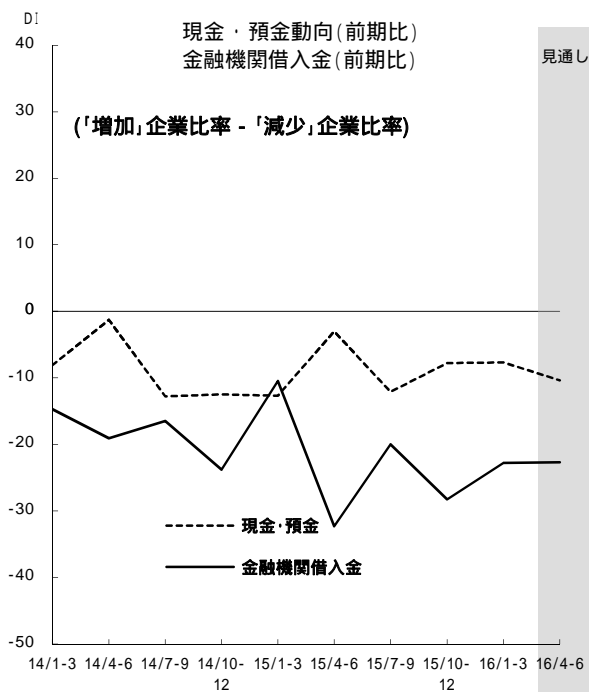
[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が11.7%、「減少する」が34.4%であることから、DIは 22.7とほぼ横ばいに推移する見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		（%）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1~3月 (実績)	3.2	19.2	47.5	23.7	6.4	-7.7
	4~6月 (見通し)	1.9	15.5	54.8	22.6	5.2	-10.4

金融機関借入金(前期比)

		（%）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1~3月 (実績)	3.2	9.7	51.4	31.2	4.5	-22.8
	4~6月 (見通し)	2.6	9.1	53.9	29.9	4.5	-22.7



(4) 販売代金回収期間

[1~3月期の実績] 販売代金回収期間(前期比)については、「短くなった」とする企業が5.8%(前期6.0%)、「長くなった」が4.4%(同9.6%)であることから、DIは1.4(同 3.6)となった。また89.8%(同84.4%)の企業は「変わらない」としている。

[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し(当期比)をみると、「短くなる」とみる企業が4.5%、「長くなる」が3.2%であることから、DIは1.3となる。また、92.3%の企業は「変わらない」とみている。

(5) 仕入代金決済期間

[1~3月期の実績] 仕入代金決済期間(前期比)については「長くなった」とする企業が1.9%(前期1.2%)、「短くなった」が1.3%(同2.4%)であることから、DIは0.6(前期 1.2)となった。また、96.8%(前期96.4%)の企業は「変わらない」としている。

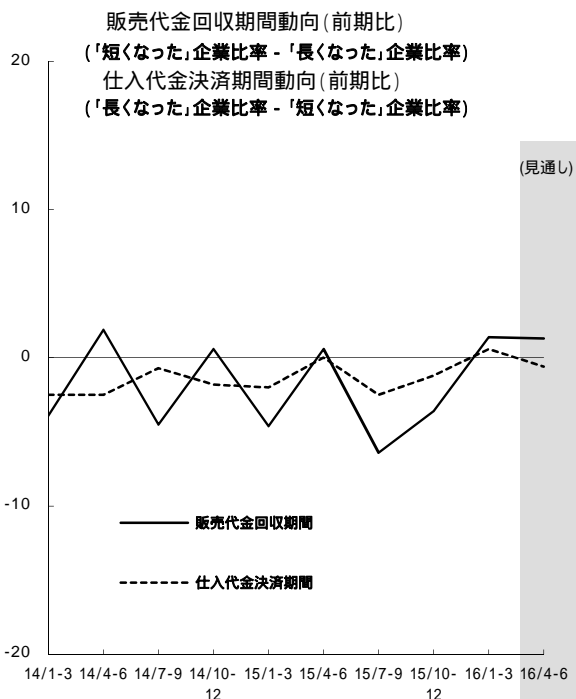
[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し(当期比)をみると、「長くなる」とみる企業が1.3%、「短くなる」が1.9%であることから、DIは 0.6となる。また、96.8%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間(前期比)

		(%)					DI
	期	短く	やや短	不変	やや長	長く	
全業種	1~3月 (実績)	0.0	5.8	89.8	3.8	0.6	1.4
	4~6月 (見通し)	0.0	4.5	92.3	2.6	0.6	1.3

仕入代金決済期間(前期比)

		(%)					DI
	期	長く	やや長	不変	やや短	短く	
全業種	1~3月 (実績)	0.0	1.9	96.8	1.3	0.0	0.6
	4~6月 (見通し)	0.0	1.3	96.8	1.9	0.0	-0.6



5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は全業種「売上・受注不振」と「人手不足」～

1～3月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」21.8%（前期21.3%）、「人手不足」18.2%（前期17.0%）、「収益不振」13.2%（同12.7%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「売上・受注不振」と「人手不足」が17.6%で1位、「収益不振」「原材料・仕入価格高」「販売価格安」が10.6%で続いている。建設業では「売上・受注不振」が28.6%で1位となり、「人手不足」が20.6%で2位、「過当競争」が15.9%で3位となった。

卸・小売業では「売上・受注不振」が21.1%で1位、「人手不足」が17.1%で2位、「収益不振」が15.4%で3位となっている

経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

